

新富町 議会だより

115号

2022年3月

3月定例会

- 定例会報告①（令和4年度予算）
- 一般質問（前半4人）
- 新田コミュニティセンター紹介
- 一般質問（後半3人）
- 定例会報告②（令和3年度補正予算）
- 条例の制定・改正・廃止、専決処分
- 議案一覧と審議結果
- 町民インタビュー（Vol.11）

令和4年3月定例会報告①

新富町一般会計、特別会計及び水道事業会計

令和4年度予算を可決

一般会計予算 ※前年比2.4%増

134億2,645万8千円

国民健康保険特別会計予算 ※前年比8.5%増

21億3,946万8千円

後期高齢者医療特別会計予算 ※前年比2.9%減

4億3,353万6千円

介護保険特別会計(保険事業勘定)予算 ※前年比2.76%増

16億2,555万3千円

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算 ※前年比3.07%増

520万3千円

土地取得特別会計予算 ※前年比90.7%減

968万2千円

水道事業会計予算(収益的収入及び支出の予定額)

収入3億664万6千円 支出3億5,953万円

総務産業常任委員会での審査

一般会計予算

屋外運動場建設事業費や新型コロナウイルス感染症対策関連事業費、新富スマートインターチェンジ建設関連工事費、富田小学校校舎防音機能復旧関連事業費により、前年度に比べ増額予算となった。

審査の過程で、サッカースタジアム照明整備補助金に関する質問があり、執行部によると、スタジアムは協定により既に新富町の施設であること。照明設備整備はJ3スタジアムの基準において、備えるべき設備として新たに加わったこと。設置費用としては、5億6億円といわれている総事業費のうち1億3,000万円を補助して、それ以外はチームのオーナー会社が負担すること。なお新富町の補助金は全額を企業版ふるさと納税等の寄付金を原資として補完すること等の説明を受けた。

文教厚生常任委員会での審査

国民健康保険

特別会計予算

歳出は、国からの確定係数に基づき、県が算定した医療費の見込み額等を計上したほか、町が取り組む特定健康診査等の費用を計上。歳入は、県が算定した見込み額を計上したほか、一般会計繰入金が計上されている。国民健康保険税は当初予算では、前年度と比較して0.3%減の4億6,020万円が計上されているが、今後の確定申告や決算の状況等を踏まえて調整していくとのことだった。

審査の過程で、歯周病検診について質問があり、当検診は40歳から10歳ごとに実施されており、全体の受診率は約5%との説明を受けた。歯周病は、心臓病や脳疾患など様々な全身の病気と関わりがあることから、医療費適正化のためにも、更なる受診率の向上に努めるよう強く要望した。

令和4年度 主な取組み事業

三納代地区まちづくり事業関連

- 【継続】屋外運動場建設事業 **10億3700万7千円**（国）9億900万円
- 【新規】スタジアム照明整備補助金 **1億3000万円**（寄附金・基金）
- 【継続】公衆無線LAN整備業務委託 **945万5千円**（基金）
- 【継続】三納代スポーツ公園線道路新設事業 **9700万円**（国）9385万円
- 【新規】施設型集合農場エリア実験ハウス新設工事 **4814万円**（寄附金）

新型コロナウイルス感染症対策

- 【継続】新型コロナウイルスワクチン接種事業
4477万7千円（国）3590万8千円

新富スマートインターチェンジ建設関連

- 【継続】スマートインターチェンジ建設に伴う水道管・農水管布設替工事
7770万円（国）7381万5千円

学校関連

- 【継続】富田小学校校舎防音機能復旧（空気調和設備取替）事業
1億5428万8千円（国）2120万7千円（基金）1億3308万1千円

商工振興・活性化対策

- 【新規】S！あぷ によるスタンプラリー事業 **1200万円**（基金）
※消費活性化や町内回遊を目的としてS！あぷ を活用したスタンプラリーを実施

農業経営支援

- 【新規】農業経営収入保険加入支援事業補助金 **600万円**（基金）
※天災等による収入減等を補てんする農業経営収入保険への加入を支援

その他 新田診療所解体事業 **5151万5千円**（地方債）4630万円



来年度の新田原基地 関連予算は

町長
厳しい財政状況のなか防音工事
の予算を確保できる見込み

問 新田原基地関連予算はどの程度見込まれるか。

町長 来年度の政府予算案は、自治体ごとの予算は示されていない。防衛省所管の基地周辺対策経費は歳出ベースで対前年度比0・1%の減となっている。総務省所管の基地交付金の総額は、前年度より10億円増となっている。

問 基地交付金の予算が10億円増額となっているのは、これまでの要望活動の成果であり評価する。防音工事は昨年度から提案があった、80W以上の区域で平成15年8月までに建築された住宅に対して来年度開始されるのか。

町長 防音工事を実施すること

で調整に入っていると承知しており、令和4年度から事業が実施されるものと考えている。

問 住宅防音工事関連の予算はどのようになるか。

町長 来年度の予算は、本来であれば防音工事待機世帯解消の特別措置の期間が終わるところから、減額となることからあったが、一部告示後住宅の防音工事を開始することから、これまでと同額が見込まれる。

問 今後、根本的なコンタール直しはどのように進めていくのか伺う。

町長 F35Bの導入は大規模な態様の変更と考えるが、本

格的な運用が始まるまで期間を要するため、それまでの間で、できることを進めていく。

まちづくり事業について

問 三納代北地区の開発基本計画の進捗状況は。

町長 北地区の西側約半分を農業実験棟ゾーンとして、実験農場ハウスを、東側約半分を直売所施設ゾーンとして直売所等を整備する。進捗状況は令和4年3月に実験農場ハウスが完成予定。

問 今後の整備スケジュールは。

町長 直売所は令和4年度に実施設計、5年度に建設工事、6年度にプレオープンを目指す。

町民のがん検診について

問 現在行われている、がん検診の助成について伺う。

町長 国の指針に基づき、子宮頸がん検診、胃がん検診、肺が

ん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診等を実施している。助成の内容は一部を受診者に負担していただいているが、65歳以上の方は無料としている。

問 町民に対する周知方法は。

町長 ホームページに掲載のほか、助成の一覧表を検診申込書に同封して知らせている。

問 さらに丁寧で、きめ細かい説明を要望する。

町長 努力する。

合併浄化槽の普及について

問 合併浄化槽の普及状況は。また今後の普及方針は。

町長 令和2年度末で2767基を設置、普及率が68・87%である。今後も関係機関と連携しながら普及に努める。

問 市町村設置型合併浄化槽について研究を進めてほしい。

町長 調査・研究する。



まつうら み お
松浦美緒議員

町長

本町のマイナカード普及率は

2月20日時点で53・24%

問 本町のマイナンバーカードの取組と実績を伺う。

町長 専用窓口を設置するとともにマイナンバーカードの申請及び交付の機会を多く提供するため、通常毎週木曜日に夜間開庁、月一回日曜日に休日開庁を実施。また町内事業所8か所185件。町外事業所4か所26件。地区集会所12か所126件。消防団4部19件。税申告か所86件。期日前投票か所170件の実績状況である。

問 町独自の魅力ある施策があれば更なる普及向上が可能になると思うが考えを伺う。

町長 紐づけとして地域通貨もしくはポイント付与等の導入検討を進めている。



スマホ操作を覚えればより便利に

デジタル社会の推進について

問 高齢者向けのデジタル講習は今後重要課題と思うが考えを伺う。

町長 電子媒体が中心となる現在、高齢者のデジタル格差が拡大している。購入・サポートをセットで推進したり、デジタル講習を積極的に取り組む検討を政策会議で審議しており、デジタル格差を埋めたい。

子宮頸がん

ワクチン接種について

問 令和4年4月より子宮頸がんワクチン積極的接種勧奨の再開が決まったが、本町の周知対象者及び周知方法を伺う

町長 まずはワクチン効果が一番高い中学1年生と対象年齢最終学年の高校1年生から、はがきによる個別通知し、年度内に対象全学年に送付予定である。

問 キャッチアップ接種対象者に対してどのような周知を予定しているか伺う

町長 キャッチアップ接種対象者645名に一斉にはがきによる通知を予定している。

※キャッチアップ接種とはヒトノパピローマウイルス感染症（HPV）の予防接種（子宮がんワクチン）は平成25年6月より積極的勧奨が差し控えられていたが、この差し控え期間に接種対象年齢を過ぎてしまった方を対象に、定期接種として無料で接種できる機会を設けること。

成年年齢引き下げの対応は

問 18歳成人引き下げを目前にトラブルに巻き込まれない為にも消費者教育を集中的に行う必要があると思うが考えを伺う。

町長 町の取組としてホームページや広報しんとみ、SNSなどの各広報媒体による啓発や各地区への回覧等を活用しながら、町民の皆様への周知及び啓発の取組を進めていく。



家庭での教育が重要

問 小学生・中学生のスマホによる課金問題も増えている。家庭教育も踏まえた取組が必要と思うが考えを伺う。

教育長 スマホ保有率が本町小学生37・9%、中学生68・0%。保護者の意識変革、家庭での話し合いの場を設けることが大事だと思う。



いしざきしゅんじ 議員
石崎 俊二

町長

鹿屋基地に米軍機一時配備

新田原基地の米軍基地化の懸念は

「恒久的に米軍基地化はしない」と約束している

問 新田原基地で、米軍が緊急時に使用するための施設整備が行なわれているが、その進捗状況は。

町長 現在、基地内の誘導路、駐機場、作業スペース、弾薬庫、燃料タンク、倉庫、庁舎の新設や改修整備が実施されている。令和4年2月末時点で30%から、最も進んでいるところで80%の進捗状況であると聞いている。



現在まで工事車両による大きなトラブルはない



返還合意から25年
世界で最も危険な飛行場
と言われる普天間基地

問 先日、鹿屋基地へ米軍の無人偵察機が一時配備をされるという報道があった。将来、新田原基地への米軍機配備や米軍基地化が懸念されるが。

町長 一つだけ約束していることは、「恒久的に米軍基地化はしない」ということで、しっかりと文書で交わしている。ただし自衛隊基地の中で、米軍が活用することがあると思われるので、そこに関しては議論をしていく必要がある。

学用品リユース事業

問 町が広報していた学用品リユース事業とは。

町長 子育て世帯の経済的負担軽減のために、新富町こども家庭総合支援センター「パブリカ」において、町内中学校及び近隣高等学校指定学用品のリユース事業を行っている。

問 町内の個人または事業者がこのリユース事業に参入してきた場合は。

町長 もちろん協力・連携して取り組んでいくのが望ましい。町内だけでなく、いろんなところと連携していければ一番よいと思う。行政が窓口となり、広報周知していければ、利用するほうも安心感もあるのではないかと思う。



世の中には「もったいない」が溢れている

町立学校のコロナ対応は

問 コロナ第6波で、学級閉鎖など、授業への影響はなかったか。

教育長 各学校において、健康チェック、マスク着用、手洗い、換気、消毒の徹底、黙食などの対策を実施しており、授業への影響や子どもたちへの感染等も最小限に抑えられている。学級閉鎖については、全体で7学級が1日から3日間、予防的に閉鎖したのみで、休校には至っていない。

問 タブレット端末の利用は。

教育長 デジタル化された協調学習や視覚化された授業により、子どもたちの学習意欲や理解力の向上はもちろん、教師の授業力向上にもつながっている。また授業以外でも、オンラインで生徒総会を開催したり、健康観察や学年集会活動等を行った。持ち帰りについては段階的に進めている。



こやま さなえ
小山早苗議員

町長

災害発生時の

防災対策や今後の課題は

地域コミュニティ組織の活性化には
防災訓練や講話の実施が課題

問 先の一月の地震を機に改めて防災について伺う。本町の地震発生時の危機管理体制は、

町長 本町の危機管理体制は、新富町地域防災計画に「災害が発生し、または発生するおそれがある場合、災害応急対策実施責任機関は定められた基準に従い、勤務時間内外を問わず速やかに登庁し、必要に応じてそれぞれ災害対策本部等を設置し、緊密な連絡協力のもとに災害応急対策を実施する」と示されている。

近年、災害の大規模化が危惧され災害種類の多様化もある。より細やかな危機管理体制を目指す。現在、地域防災計画にある配備体制の見直しを進めている。



役場の危機管理体制
職員一人ひとりの認識は？

問 大規模災害への備えなど、今後の課題は。

町長 大規模災害が発生した場合、職員だけでの対応は困難になることが予想される。今後、消防団や自主防災組織等の地域コミュニティ組織の活性化のためには防災訓練や防災講話を実施していくことが課題。また、避難行動要支援者の個別避難計画の策定も重要だと考えている。

まちづくりについて

問 新富町の目指すまちづくりとは。

町長 現在第6次長期総合計画の策定を進めており「子や孫たちが帰ってきたくなるまち」という基本ビジョンを掲げることとしている。その実現にあたって「快適で安心安全な生活を送れるまち」「誰ひとり取り残されないまち」「生涯を通して活躍できるまち」「仕事があり、人が集まる魅力あふれるまち」「新しい価値を生み出し活性化するまち」という5つの分野別ビジョンを設定し、今後10年間のまちづくりを進めていくこととしている。



サッカーだけではなく
今後の展開に期待

問 地域の特色を活かしたまちづくりについての考えは

町長 それぞれの特色を活かすことは重要なことだと認識している。都市計画区域や農業振興地域など、各地域が持つ強みをさらに伸ばすような施策の実行に努めていく。また、県内唯一のJリーグが開催できるまちとして、特色を活かす施策も進めていく。

住宅防音工事について

問 国から提案された告示後住宅の防音工事について期待をされている方も多いと思われる。また、今後の対応に戸惑いの声も聞かれるが今後の対応は。

町長 国は関連通達が整備された後、住宅防音事業の公表を九州防衛局ホームページで行うとしており、町は公表後速やかに町ホームページや町の広報誌等により町民にお知らせしたいと考えている。

センターOPEN！

コンビニ、コインランドリーも併設

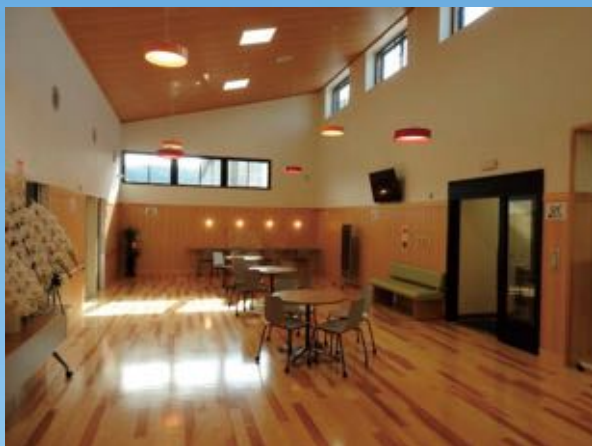


議会の一般質問で、たびたび取り上げられていたコンビニ誘致。コインランドリーまで併設して、地域住民には利便性の高い施設となりそうです。

議会を代表して永友議長が祝辞を述べました。



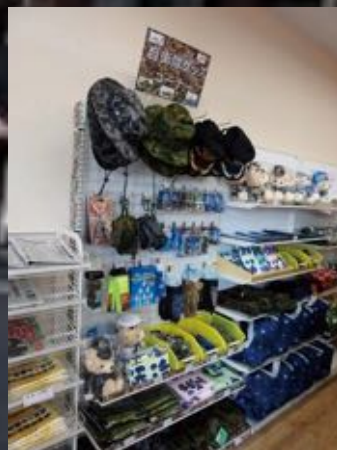
新田コミュニティ



支所機能のほか多目的ホール、会議室、和室、調理室があり、館内はフリーWi-Fi も整備しています。



コンビニ内には、地元産の野菜や自衛隊グッズも販売しています。





あまんせいろう
阿萬誠郎議員

町長

甘藷「基腐病」の
拡大防止策は

啓発活動や、ほ場への巡回を継続

問 かんしょ「基腐病」によるほ場地域の発生状況は。

町長 令和3年度における基腐病発生面積は約25ha、本町では16戸の農家、約17haで確認されている。

※ha（ヘクタール）

問 被害地域全体及び継続栽培への支援策は。

町長 国の支援策として、基腐病の発生した農家が行う残渣処理、薬剤及び苗の購入費用等の資材費に対して2分の1を助成する制度になっている。

問 基腐病拡大による畑作営農への影響と拡大防止策は。

町長 本町では、89戸の生産者が約428haを作付けしており、原材料、加工用、生食用と



「かんしょ」茎・根腐敗症の被害畑

して供給。基腐病が拡大すると、別の作物に転換することが困難。また転換した場合、現在同様の取引ができるのが懸念され、経営難になることが考えられる。これ以上の拡大防止のため、早期発見と発見時の病理診断等を行うよう広報等による啓発活動や、ほ場への巡回を継続していく。



高齢者には遠い
ゴミ集積所

高齢者世帯への ごみ個別回収は

問 高齢化の進展に伴い、ごみ出し困難な高齢者世帯への対策は。

町長 本町においても高齢化対策として、大きな課題であると認識。ゴミ分別の仕方、集積所までが遠い等、高齢化対策として考えられる。ヘルパーの方やボランティア等の協力が必要不可欠であり、社会福祉協議会等、協議し対策に努めていく。

問 真にゴミ出し支援が必要な高齢者世帯の玄関まで「ゴミの個別回収」の仕組みづくりはできないか。

町長 高齢者に対し、自治体として積極的に支援するのか、高齢者が自らできることに手を貸すことにより、心身機能の低下を招くことにならないか等、協議しながら検討していきたい。



住民だれもが利用できる
ICT環境づくりを

高齢者支援への ICT利活用は

問 高齢者支援へのICT（情報通信技術）利活用によるサービス向上の環境整備は。

町長 高齢者等が快適に使いこなせる情報端末の提示や提供、スマートホン教室をはじめ、ICTの利便性を十分に使いこなせる教育の整備等が考えられる。



オリンピックで人気急
上昇のスケートボード
(↑スケートパーク)

問 町内には都市公園等はあるが子ども達で、あるいは親子でスケートボードやバスケットボール等ができたり、また自由に遊べたりできる広場があれば子育てに大いに役立つと思うが、これらを整備する考えはないか。

町長 現在、スケートボードやバスケットゴール等を備えた屋外で遊べる広場等の計画は無いが、今後、調査研究を重ね検討する。



しもむら ゆきたか
下村 豊 議員

町長

子どもが自由に 遊べる広場は

計画はないが調査研究する

非課税世帯の特別給付金は

問 新型コロナウイルス対策の町県民税非課税世帯に対する特別給付金の給付状況は。

町長 対象世帯に案内通知を郵送し、支給要件確認書の提出をお願いしている。提出書類を確認の後、随時支給する。

広域コミュニティバス

補助事業とは

問 宮崎県の令和4年度予算案で、自治体間における広域コミュニティバスの運行を行う自治体に対する補助事業があるが町の考えは。

町長 先般、県から宮崎交通以外の他事業者への転換か、関係市町村で共同運行する広域

的コミュニティバスへの転換の2つの手法が示された。移行する場合、導入経費の2分の1を補助、最長5年間。本町は、経費削減のため減便を図りながらも現行の宮崎交通による地域間幹線バス路線を維持していきたい。転換は、関係市町の動向を注視し慎重に対応する。



広域コミュニティバス
運行も一つ的手段

ワクチン3回目接種

その効果は

問 新型コロナウイルス・オミクロン株へのワクチン3回目接種の効果は。

町長 発症予防効果は、デルタ株と比較すると低下するものの、追加接種により回復することが示唆されている。

企業誘致の下水道整備は

問 企業誘致の促進には下水道の整備が必要ではないのか。

町長 平成13年に財政的な理由で公共下水道整備を断念、町内全域合併浄化槽整備の方で最終決定している。誘致した企業が合併処理浄化槽を円滑に設置・使用できるように、また補助金を受け取ることができない事業所等にも負担軽減が可能となるよう調査研究を行っていく。



早めの解決を
お願いしたい

マルシヨク閉鎖後の動向は

問 12月議会でも質問したが、マルシヨクの閉鎖後の動向は。
町長 店舗跡地の活用について、協議継続中である。早期解決に向け最大限の努力をもって協議を継続していく。



よしだけんいち
吉田憲市議員

町長

**町長就任2期目
実践していく最重要課題は**

町政に反映できる対策を

問子や孫が帰ってきたくなる町はどんな町か。本町は農業の町、有機農業を推進し健康な土、健康な作物、健康な身体を作ると共に、循環型社会を構築し、受け皿づくりに万全を期すべきではないか。

町長町民一人ひとりが尊重され心豊かに生き生きと暮らし、明るい未来に向かってチャレンジする、誰もが暮らしやすい誇れる町だと考えている。

問実践していく最重要課題は人材育成だと思う。現在の役場職員170名、会計年度任用職員130名は適当か。勤勉手当の勤務成績の活用状況において人事評価を活用されていないとあったが、この制

度を利用し表彰制度を設け、有能な職員づくりを望むが。

町長現在、表彰制度は実施していない。今後考えて職員のやりがいやスキルアップに努めていきたい。



職員のスキルアップは町民サービスにつながる

**F35B受け入れ容認と
今後の対応は**

問F35Bの受け入れに当たりどのような考えに基づき受け入れる考えを示したのか、また、受け入れに対し何を要望したか、今後の対応策について伺う。

町長国が騒音対策として住宅防音工事の対象拡大の提案受け入れに当たっては、2市3町で構成する新田原基地周辺協議会の姿勢に対し一定の評価をし、今後は、住民の不安解消や負担軽減、騒音対策等の早急な実施に向けて要望していきたい。

**上新田地域の
まちづくりについて**

問上新田小学校跡地の活用は。
町長将来的な上新田公民館の建替えを視野に入れたコミュニティエリアと事業所等の誘致エリア宅地分譲等の手法も検討していく。



上新田地域の発展に欠かせない場所である

問観光牧場を作る考えは。
町長引き続き検討していく。

問介護老人福祉施設の必要性は。

町長県とも協議したが現在のところ待機者数が多い現状や周辺市町村の介護福祉施設にも入所している現状等を勘案すると増設については計画されていない。



交流人口の増加に対応するには

**上下水道の整備は
町の活性化に必要では**

問上下水道を整備し、ホテルやレストラン等のレジャー企業を誘致し、町の活性化発展に万全を期すべきでは。

町長上下水道については計画的に整備し、下水道整備については平成13年に断念した経緯がある。企業誘致に関しては、今後も最重要課題として努力していく。

令和4年3月定例会報告②

新富町一般会計、特別会計及び水道事業会計

令和3年度補正予算を可決

一般会計補正予算(第15回) ※事業確定に伴う調整

既定の総額から3億7465万2千円を減額 総額143億4,361万5千円

一般会計補正予算(第16回) ※新富温泉の汲み上げポンプ交換費用

既定の総額から300万円を増額 総額143億4,661万5千円

国民健康保険特別会計補正予算(第4回) ※医療費の見込みにより増額

既定の総額から6,050万5千円を増額 21億7,247万円

介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4回) ※事業確定に伴う調整

既定の総額から3,872万4千円を減額 16億50万4千円

後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回) ※広域連合からの通知に基づき調整

既定の総額から666万7千円を減額 4億4,799万5千円

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第3回)

※事業確定に伴う調整

既定の総額から26万1千円を減額 616万4千円

土地取得特別会計補正予算(第2回) ※事業確定に伴う調整

既定の総額から526万5千円を減額 2億539万5千円

水道事業会計補正予算(第4回)

予算第2条の資本的収入及び支出の第1款第5項企業債を1,500万円減額し、総額を8,194万6千円に。予算第3条の継続費の全体計画については、予算第2条で、企業債の収入が減額となったため、浄水場発電機及び電気計装設備更新工事の財源のうち企業債1,500万円、建設改良積立金873万8千円をそれぞれ減額、損益勘定留保資金を2,373万8千円増額して財源内約の調整を行った。

条例制定・改正・廃止、専決処分

条例の制定・改正・廃止(6件)

新富町民に寄り添う支援条例(新たに制定)

災害や事故、犯罪等で被災した町民に対し見舞金を支給する条例

新富町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

水火災等出動手当の改正 1回1人7,000円→1日1人8,000円

新富町有線ラジオ放送施設運営基金条例を廃止する条例

有線ラジオ放送IP告知端末が令和4年3月31日をもって終了。替わって防災無線ラジオへ。

新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

新富町重度心身障がい等児童福祉手当支給条例の一部を改正する条例

新富町道路占用条例の一部を改正する条例

専決処分(6件)

専決処分の承認(4件)

一般会計補正予算(第11回)

子育て世帯のための臨時給付金事業 1億2,645万円増額

一般会計補正予算(第12回)

住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業 2億7,083万3千円増額

一般会計補正予算(第13回)

感染症対策休業要請等協力金支給事業

施設園芸農家等緊急支援給付金事業 5,033万円増額

一般会計補正予算(第14回)

感染症対策休業要請等協力金支給事業 4,032万円増額

専決処分の報告(2件)

・硬質フィルムハウス新設工事請負変更契約の締結について

・令和3年度新富町DX推進環境整備事業物品売買変更契約の締結について

令和4年3月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第1号	令和3年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第2号	令和3年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第3号	令和3年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第4号	令和3年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第5号	令和3年度新富町土地取得特別会計補正予算	可決	全員
議案第6号	令和3年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第7号	令和3年度新富町水道事業会計補正予算	可決	全員
議案第8号	令和4年度新富町一般会計予算	可決	多数
議案第9号	令和4年度新富町国民健康保険特別会計予算	可決	全員
議案第10号	令和4年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	可決	全員
議案第11号	令和4年度新富町後期高齢者医療特別会計予算	可決	全員
議案第12号	令和4年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	可決	全員
議案第13号	令和4年度新富町土地取得特別会計予算	可決	全員
議案第14号	令和4年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算	可決	全員
議案第15号	令和4年度新富町水道事業会計予算	可決	全員
議案第16号	新富町民に寄り添う支援条例	可決	全員
議案第17号	新富町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第18号	新富町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第19号	新富町重度心身障がい等児童福祉手当支給条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第20号	新富町道路占用条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第21号	新富町有線ラジオ放送施設運営基金条例を廃止する条例	可決	全員
議案第22号	令和3年度一般会計補正予算(追加)	可決	全員
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員
報告第1号	専決処分の報告について(硬質フィルムハウス新設工事請負変更契約の締結について)	—	—
報告第2号	専決処分の報告について(令和3年度新富町DX推進環境整備事業物品売買変更契約の締結について)	—	—

議会からのお知らせ

IP告知放送が令和4年3月末にて終了しました。それに伴い、一般質問の放送も終了いたします。今後はインターネット配信など検討して参りますので、しばらくお待ちください。

町民インタビュー Vol.11

聞かせて！あなたの未来

「次世代の地域リーダーを育てたい」

一丁田高速道路周辺美化委員会

【一丁田高速道路周辺美化委員会】

2007年に発足し、今年15年目を迎えた。

地域の担い手となる上新田学園の子ども達を巻き込んだ地域交流、次世代のリーダー育成となる「椎茸プロジェクト」。世代を超えた地域との連携を目的として高速道のり面を中心に、高速道フェンス内の草刈りや休耕地の草取りなど年間を通して活動を行っている。

委員長の
河野敏男さん

上新田学園「椎茸プロジェクト」

やさしい眼差しで
語ってくれた河野さん

【河野敏男さんにインタビュー】

学生時代に背中を追い続けてきた先輩でもある、初代委員長の故河野政継さんの意思を受け継ぎ2022年より2代目委員長となられた河野敏男さん。今回のインタビューの中では、前委員長の活動の偉大さを含め、現在の課題や将来について語っていただきました。

喫緊の課題としては、委員会の全体的な高齢化です。でもがんばって、次世代につながるよう活動を続けていきたいと思っています。そんな中でも上新田学園の中学生とふれ合える「椎茸プロジェクト」は毎年継続していて、素直な子どもたちと活動ができる喜びを感じています。また今年度より「菜の花プロジェクト」が休止になったことは残念ですが、これらを経験した子どもたちが将来、上新田に帰ってきて、この活動を受け継ぎ次のリーダーとして地域を盛り上げてくれることを願っています。

編集後記

小嶋町政二期目がスタートし、令和4年度の予算が議会で可決された。第6次新富町長期総合計画も示され、これからが本番。

役場職員一七〇名、会計年度任用職員一三〇名、合わせて三〇〇名。全ての職員でアイデアを出し、力を集結して住民が豊かに暮らせる新富町を目指してがんばってほしい。

終わりに新富町の益々の発展と、「コロナの早期終息、そしてロシアによるウクライナ侵攻の即時停止を願ってやまない。

けんいち

議会広報特別委員会

委員長 石崎 俊二

副委員長 小山 早苗

委員 松浦 美緒

出口 喜重郎

大木 俊二

吉田 憲市

【連絡先】議会議務局

☎33-6139